

感染症発生状況

平成30年12月12日

幼稚園・保育園・認可外保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

平成30年12月3日（月）～12月7日（木）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は2,716名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】567名 【職員】26名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】114名（前々週の1日あたりの延べ欠席者数87名）

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】症状：熱（198名）、咳・鼻水（53名）、下痢・腹痛（38名）、嘔気・嘔吐（17名）

疾病別：インフルエンザ（53名）、手足口病（37名）、気管支炎・肺炎（35名）、溶連菌感染症（31名）

【職員】症状：熱（5名）、下痢・腹痛（3名）、頭痛（2名）

疾病別：インフルエンザ（11名）、流行性角結膜炎（1名）

インフルエンザが地域限定的ですが流行を始めました。溶連菌感染症、手足口病、RSウイルス感染症、リンゴ病等の流行があります。

職員にもインフルエンザが見られます。ワクチンの接種を受けましょう。

【症状別の発生状況】

インフルエンザ 厨川、盛南地域で増加しました。

手足口病 盛南地域で減少。河南、都南地域で増加しました。

気管支炎・肺炎 河北、河南地域で増加しました。

溶連菌感染症 河北地域で減少。厨川、盛南、都南地域で増加しました。

【県の状況（11/26～12/2）】

伝染性紅斑（リンゴ病）は、久慈、県央、宮古地区で警報値（定点あたり患者数2人）を超えました。多くの地区で報告数が増えており注意が必要です。小児を中心にみられる流行性発疹性疾患で両頬の紅斑に続き四肢にレース状の紅斑が出現します。妊婦の方が感染すると胎児に影響することがあるので注意が必要です。

咽頭結膜熱は、宮古地区でさらに患者が増加し、5週続けて警報値（同5人）を超えています。引き続き注意が必要です。主症状は、発熱、咽頭炎、結膜炎で、患者との濃厚接触やタオルの共用を避け、うがいや石けんと流水による手洗いが重要です。

インフルエンザは、県内の5地区で報告がありました。今後の動向に注意が必要です。予防には、ワクチン接種や体調管理、こまめな手洗いが重要です。ワクチンは接種から効果が現れるまでに2週間程度かかるため、早めの接種が勧められます。接種については、事前に医療機関へご確認ください。

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会
電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話 613-8347（ダイヤルイン）ファックス 652-3424】